

魚がつかなくなっている理由をしらべよう。



私たちの生活において水は絶対に欠かすことのできないものです。ここでは魚の数が減っていることの原因を探り、そのことと私たちの生活に深い関係があるという「因果性」について学んでいきます。また、「着眼点」では2つの資料を見て、違いに着目していくことによって比較の視点を養っていきます。

因果性

魚をつろうと思ったのにまったくつかなくてふしぎに思ったたけしくんは、その理由を知りたくて川の近くに昔からすんでいるおじさんに話を聞いてみることにしました。

もんだい問題1

次の話を読んで考えましょう。

川の近くに昔からすんでいる人の話



この川は昔はシジミがたくさんとれて、おみそしるに入れて食べていたんだ。でも、だんだんとれる数がへって行って、今ではまったくとれなくなっちゃったんだ。
また、昔はフナもたくさんとれて、にぎやかなに食べていたんだよ。今でもフナはたまにとれるけど、どろくさいにおいさがよくなくてもう食べられなくなっちゃったよ。

(1) 今の川の様子は昔とくらべてどのようになりましたか。

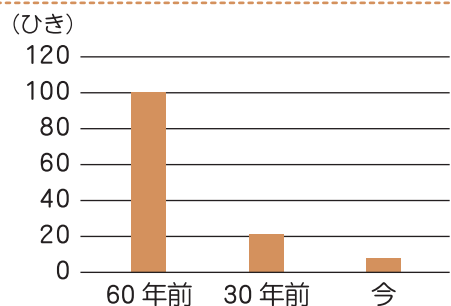
() 昔はシジミもフナもとれたが、今はフナしかとれない。

() 今も昔もかわらず、シジミやたくさんのフナをとることができる。

合うものに ○ をつけよう。

(2) 次のグラフを見て、この川で1週間につれる魚の数について調べてみましょう。

川で1週間につれる魚の数



考える力・プラス講座編集室作成

1週間につれる魚の数は60年前よりも

30年前のほうが 合うものに ○ をつけよう。

(多く・かわらなく・少なく) になっており、

30年前よりも今のほうが

(多く・かわらなく・少なく) になっている。

つまり、1週間につれる魚の数は

(ふえつづけている・かわっていない・へりつづけている)。

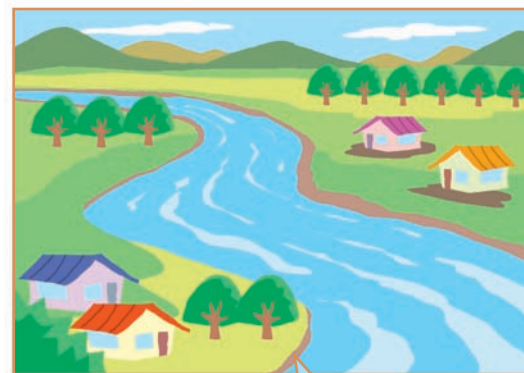
技

もんだい問題2

昔の川と今の川のまわりの様子はどこがかわったでしょうか。くらべて考えましょう。

たてもの数に注目!

むかし 昔の川のまわりの様子



むかし 今の川のまわりの様子



川のまわりの様子

() の数 「じゅうたく」か「工場」のどちらかをえらんで書こう。	むかし 昔は少ししかなかったが、今はたくさんある。
() の数	むかし 昔はまったくなかったが、今はいくつかある。



じゅうたくや工場がふえることと魚がつかなくなることにはかんけいがあるのかな?



考える技

複数の資料を複数の視点で比較するなどして読み取ることは、さまざまな要素を含む社会の事象をとらえていく上で大切な力となります。複数の視点をあてた上で資料を読み取る問題に取り組むことにより、自然と複数の視点で資料を読み取る力を養っていきます。